

JOYO BANK NEWS LETTER

2025年2月14日

「第4回 Joyo High school テックコンテスト」受賞作品の決定について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび「第4回 Joyo High school テックコンテスト※」の2次審査を行い、受賞作品を決定しましたので下記のとおりお知らせいたします。

当行は、今後とも、将来における IT 人材育成や新しい事業の発掘・サポートに取り組むことで、地域経済の活性化に貢献してまいります。

※ 詳細は、2024年6月6日付ニュースリリース「『第4回 Joyo High school テックコンテスト』の実施について」をご参照ください。

記

【受賞先（2次審査結果）】

1. エキスパート部門（計6作品）

賞名	チーム名	所属校	作品名
最優秀賞	坂本 裕紀	緑岡高等学校	Campus Link Pro
優秀賞	水工工業技術部	水戸工業高等学校	FREEDOM
入賞	夢のゲーム開発部	IT 未来高等学校	Have magic power! ~音声認識を用いた発音評価学習系ゲームの開発~

特別賞名	チーム名	所属校	作品名
審査員長特別賞	おしゃべり妖精ごまちゃんず	つくば工科高等学校	おしゃべり妖精ごまちゃん（介護福祉コミュニケーションロボット）
NOEX賞	水工工業技術部	水戸工業高等学校	Clumsy Wave
テック特別賞	安田 陽真	S 高等学校	VRMeet（Web上で手軽に3Dコラボ）

2. アイデア部門（計7作品）

賞名	チーム名	所属校	作品名
最優秀賞	Shyky	つくば工科高等学校	ZEROSYSTEM Dr. ストラクチャー
優秀賞	Bluetoon	日立第一高等学校	振動による集中と休息のサポートデバイス
入賞	ダイナモローラー	水戸商業高等学校	Pay Link（電子決済共有アプリ）
奨励賞	未来耕作団	つくばサイエンス高等学校	テキカくに 野菜・果物シュウカクン
	ProfIT	水城高等学校	Quizpix ~AIとOCR技術を用いた効率的な学習支援アプリ~
	自転車事故対策委員会	水戸工業高等学校	社会貢献型自転車事故防止装置 MUJIKO
	Crimson Dragons	竜ヶ崎第一高等学校	小型自動船による海洋プラスチックの回収

（敬称略、同賞の場合は発表順）

※各部門の最優秀賞には茨城県教育委員会教育長賞が併せて授与されます。

※一部の受賞作品の概要および過去の受賞者によるスピーチは、別紙をご参照願います。

【ご参考】

- 募集期間 2024年6月6日～10月31日
- 審査方法 1次審査：書類選考
2次審査：オンラインでのプレゼンテーション（2025年1月28日）
- 応募総数 119件（前回比+80件）

以上

【一部の受賞作品の概要】

1. エキスパート部門（作品の企画力・独創性・技術力・実現可能性や有用性等を評価）

賞名	チーム名	所属校	作品名
最優秀賞	坂本 裕紀 <small>ゆうき</small>	緑岡 高等学校	Campus Link Pro
	(概要) 教員と生徒間の連絡を円滑にするためのアプリ。授業変更入力やスケジュール管理、プッシュ通知、クラス内画像共有機能など多彩な機能を具備。現在、1 クラスで実証実験中であり、多くの生徒が利用し高評価を得ている。		
優秀賞	水工工業技術部	水戸工業 高等学校	FREEDOM
	(概要) 音声、手話、点字など多様なコミュニケーション手段を一つにまとめ、円滑な意思疎通を目指すアプリ。翻訳・音声・画像認識により、多言語対応や手話認識が可能。今後、点字出力機能を追加し、紙への点字印刷の実現を目指す。		
入賞	夢のゲーム開発部	IT 未来 高等学校	Have magic power! ~音声認識を用いた発音評価学習系ゲームの開発~
	(概要) 英語の発音評価を行う学習系 RPG ゲーム。英語が苦手な小・中学生を対象に、楽しく長続きする英語学習の提供を目的とする。ゲーム全体のデザインに統一感があり、視認性が高い点を評価。文化祭での実証実験や学習効果の検証も実施済。		

2. 特別賞（各評価者の審査基準※123により選定）

賞名	チーム名	所属校	作品名
審査員長 特別賞※1	おしゃべり妖精ごまちゃんず	つくば工科 高等学校	おしゃべり妖精ごまちゃん（介護福祉コミュニケーションロボット）
	(概要) バイタルチェックやおしゃべり機能等により介護者の負担軽減を図るコミュニケーションロボット。介護福祉分野での人手不足と高齢化を背景に開発。今後、視線追従や音声認識等により、利用者の体調変化のウォッチも可能にすることを目指す。		
NOEX 賞※2	水工工業技術部	水戸工業 高等学校	クラムジー ウェーブ Clumsy Wave
	(概要) 特殊詐欺を防ぐための Android アプリ。電話の通話を録音し、その音声の声紋と事前に登録された声紋リストとの照合により通話相手を識別することが可能。登録済の声紋データと一致しない場合に警告メールを発信することで特殊詐欺防止を目指す。		
テック 特別賞※3	安田 陽真 <small>はるま</small>	S 高等学校	VRMeet（Web 上で手軽に 3D コラボ）
	(概要) 高価な専用機材不要で、Web ブラウザと Web カメラだけで 3D コラボを実現するアプリ。個人 Vtuber や不登校生徒のメタバース登校支援が可能で、メタバース登校における生徒の心理的負担軽減や授業中のコミュニケーションを実現する。		

※1 審査員長特別賞は、コンテストの審査員長である大久保賢二様が理事長を務める「特定非営利活動法人 IT コーディネータ茨城」より贈られます。

※2 NOEX 賞は、協賛企業である「株式会社ノエックス」より贈られます。

※3 テック特別賞は、常陽銀行から技術力が特に優れた作品に贈られます。

3. アイデア部門（作品の企画力・独創性等を評価）

賞名	チーム名	所属校	作品名
最優秀賞	シャイキー Shyky	つくば工科 高等学校	ZEROSYSTEM Dr. ストラクチャー
	(概要) 大規模災害時における二次被害を防ぐための倒壊危険度調査ロボット。自律走行機能により、被災地を自動巡回し、カメラにより建物のひび割れや傾きを検知し、取得した情報をリアルタイムでハザードマップにアップデートする。		
優秀賞	ブルートゥーン Bluetoon	日立第一 高等学校	振動による集中と休息のサポート デバイス
	(概要) 首に装着して振動を与えることで、集中とリラクセスを切り替えるサポートデバイス。トレーニングや継続的な費用が不要で、音楽、アロマ、瞑想、サプリ等と比べ即効性がある。場所を選ばず使用すること可能で、仕事や勉強の効率向上が期待できる。		
入賞	ダイナモローラー	水戸商業 高等学校	Pay Link（電子決済共有アプリ）
	(概要) 電子決済の利便性向上を目指すアプリ。複数のサービスの残高を一括管理し、一度の決済で複数のサービスでの支払いが可能。Google Map と連携し、ユーザーの統合残高に基づき、予算内で利用可能な店舗の表示や割り勘機能等を搭載する。		

【二次審査会の様子】（2025年1月28日）

当日の様子は、後日当行ホームページに掲載いたします。

なお、第1回～3回目の受賞作品のプレゼン動画等は、[こちら](#)からご確認いただけます。



【発表の様子】

二次審査に参加する高校生と審査員は、それぞれの学校・研究室・職場等から WEB で参加しました。各チームの発表では、参加者たちが事前に準備したスライドを使って、研究成果やプロジェクトの進捗状況を詳しく説明しました。



【過去の受賞者によるスピーチ】

第一回大会（2021年度）の受賞者であり、現在、当行に勤務する関谷 楓が、社会人3年目となった現在の仕事内容や、コンテストへの参加を通じて得られた経験等を、2次審査会に進出した高校生に披露しました。